

神の選びの目的



ヨハネの福音書 15:12~17

15:12 わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合うこと、これがわたしの戒めです。

15:13 人がその友のためにいのちを捨てるといふ、これよりも大きな愛はだれも持っていません。

15:14 わたしがあなたがたに命じることをあなたがたが行なうなら、あなたがたはわたしの友です。

15:15 わたしはもはや、あなたがたをしもべとは呼びません。しもべは主人のすることを知らないからです。わたしはあなたがたを友と呼びました。なぜなら父から聞いたことをみな、あなたがたに知らせたからです。

15:16 あなたがたがわたしを選んだのではありません。わたしがあなたがたを選び、あなたがたを任命したのです。それは、あなたがたが行って実を結び、そのあなたがたの実が残るためであり、また、あなたがたがわたしの名によって父に求めるものは何でも、父があなたがたにお与えになるためです。

15:17 あなたがたが互いに愛し合うこと、これが、わたしのあなたがたに与える戒めです。

選びの土台は愛

わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合うこと、これがわたしの戒めです。
(12節)

- (1)「わたしはあなたがたを友と呼ぶ。」(15節)
- (2)「わたしはあなたがたを選んだ。」(16節)

あなたがたが互いに愛し合うこと、これが、わたしのあなたがたに与える戒めです。(17節)

友として

ヨハネの福音書には「これこそ、ほんとうのイスラエル人だ。彼のうちには偽りが無い。」と言われた十二使徒ナタナエル、ユダヤ人の指導者、教師であったニコデモ、イエスに「わたしに水を飲ませてください。」と言われたサマリヤの女、七つの悪霊を追い出されたことがあるマグダラのマリヤ、疑い深かったトマス、ラザロの姉妹ベタニヤのマルタやマリヤなど主イエスの友として選ばれ、友情を深めた人々が登場する。



「友」という関係は互いの独自性を大切に、互いに支配しない関係。

それでありながら、互いが愛と信頼によって深く結びついている関係。

「しもべ」と「友」との違い

「しもべ」と「友」との違いは明らかである。「しもべ」は主人のすることを知らないが、「友」は知らされるという違いがある。

「しもべ」は主人のためにいつも何かをしなければならないというDoingが強調されるのに対して、「友」は秘密、奥義を知らされているというかわり、つまり親しいかわりの存在Beingが強調される。

三つの愛と その方向



イエスの言われる「互いに愛し合う」愛とは「アガペー」、ないしは「アガパオー」である。それは自分中心のエロスの愛でもなく、また「相互通行」(give and take)としてのフィレオの愛ではなく、それぞれが自分の相手に対して、「**選びの愛**」と同じく、「**一方通行**」としての愛をもって愛することを教えている。

選びの目的

ヨハネ15:16 あなたがたがわたしを選んだのではありません。わたしがあなたがたを選び、あなたがたを任命したのです。それは、あなたがたが行って**実を結び**、そのあなたがたの**実が残るため**であり、また、あなたがたがわたしの名によって父に求めるものは何でも、父があなたがたにお与えになるためです。

アブラハムの選び

神様がアブラハムとその子孫を選んだ理由は、**全人類を祝福するため**であった。

「イスラエルだけを救おう」として選んだのではなく、「**イスラエルを通して全人類を救おう**」とされたということ。

パウロの選び

パウロが主に選ばれたその目的は、(ガラテヤ1:16)「**異邦人の間に御子の福音を伝えるため**」である。天からの光によってパウロが回心した時にも、そのことが主の弟子アナニアによって語られる。

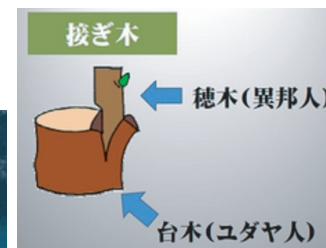
使徒9:15 しかし、主はこう言われた。「行きなさい。あの人はわたしの名を、異邦人、王たち、イスラエルの子孫の前に運ぶ、**わたしの選びの器**です。」

神の奥義と神のあわれみ

ローマ11:24 もしあなたが、野生種であるオリーブの木から切り取られ、もとの性質に反して、栽培されたオリーブの木につがれたのであれば、これらの栽培種のものは、もっとたやすく自分の台木につがれるはずです。

11:25 兄弟たち。私はあなたがたに、ぜひこの**奥義**を知っていただきたい。それは、あなたがたが自分で自分を賢いと思うことがないようにするためです。その**奥義**とは、イスラエル人の一部がかたくなになったのは異邦人の完成のなる時までであり、

11:26 こうして、イスラエルはみな救われる、ということです。こう書かれているとおりです。「救う者がシオンから出て、ヤコブから不敬虔を取り払う。」



イエス来臨の目的

ヨハネ10:10 盗人が来るのは、ただ盗んだり、殺したり、滅ぼしたりするだけのためです。わたしが来たのは、羊がいのちを得、またそれを豊かに持つためです。

実を結ぶために

ヨハネ15:5 わたしはぶどうの木で、あなたがたは枝です。人がわたしにとどまり、わたしもその人の中にとどまっているなら、そういう人は多くの実を結びます。わたしを離れては、あなたがたは何もすることができないからです。

みことばが益になるために

ヘブル4:2 福音を説き聞かされていることは、私たちも彼らと同じなのです。ところが、その聞いたみことばも、彼らには益になりませんでした。みことばが、それを聞いた人たちに、信仰によって、結びつけられなかったからです。

すべてのことを教えられる聖霊

ヨハネ14:26 しかし、助け主、すなわち、父がわたしの名によってお遣わしになる聖霊は、あなたがたに**すべてのことを教え**、また、わたしがあなたがたに話したすべてのことを思い起こさせてくださいます。